

The 10th **がんチーム医療に貢献する** **オンコロジーセミナー**

テーマ：標準的治療とチーム医療 —治療効果を高めるために何をすべきか—

日時

平成22年 **10月9日(土)**
9:25~17:00
(受付開始 8:45)

会場

日本教育会館
8階 第一会議室

(東京都千代田区一ツ橋2-6-2)

参加費

会員: 4,000円
非会員: 7,000円

当日受付にご持参ください

プログラム

1. シンポジウム1 ガイドラインと将来への展望

(1) 肺がん

共催：大鵬薬品工業株式会社

1. 薬物療法の現状と有害反応対策

細見 幸生 (がん・感染症センター都立駒込病院)

2. 看護師の立場から

我妻 孝則 (金沢医科大学病院)

(2) 胃がん

1. 薬物療法の現状

小泉 和三郎 (北里大学医学部)

2. 胃がん治療と有害反応対策

今田 洋司 (癌研有明病院)

2. 特別講演 分子標的治療薬という幻想 共催：中外製薬株式会社

國頭 英夫 (三井記念病院)

3. ランチョンセミナー 「進化し続ける外来化学療法の中」

進行・再発乳がんに対する化学療法 ~How to use Gemcitabine~

共催：日本イーライリリー株式会社

鈴木 育宏 (東海大学医学部附属病院)

4. 2010年海外視察研修報告

5. シンポジウム2

標準的治療とチーム医療 —すぐれた治療効果を目指して

(1) 薬理学からみる標準的治療を遵守するわけ

米村 雅人 (国立がん研究センター東病院)

(2) 標準的治療とは何か

安藤 雄一 (名古屋大学医学部附属病院)

(3) 実臨床での標準的治療の生かし方 —悪性リンパ腫の例—

共催：協和発酵キリン株式会社

山口 博樹 (日本医科大学付属病院)

(4) がん治療が見込める患者、見込めない患者の意思決定支援

小澤 桂子 (NTT東日本関東病院)

(5) 標準的治療が効かなくなったとき、患者にどのように対処するか

朴 成和 (聖マリアンナ医科大学)

6. 緩和医療 患者が望む理想のがん性疼痛コントロールとは

共催：久光製薬株式会社

服部 政治 (癌研有明病院)

7. 新薬アップデート 造血器腫瘍の分子標的治療薬

三谷 絹子 (獨協医科大学)

●日本緩和医療薬学会による単位の交付を申請中です。●日本薬剤師研修センターによる単位が交付されます。

主催：NPO法人がん医療研修機構

後援(予定)：日本医師会、日本癌学会、日本癌治療学会、日本臨床腫瘍学会、日本病院薬剤師会、東京都病院薬剤師会、日本薬剤師会、日本薬学会、日本医療薬学会、日本がん看護学会、日本緩和医療学会、日本放射線腫瘍学会、日本放射線技師会、日本臨床衛生検査技師会



The **10th** **がんチーム医療に貢献する**
オンコロジーセミナー

参加申込書

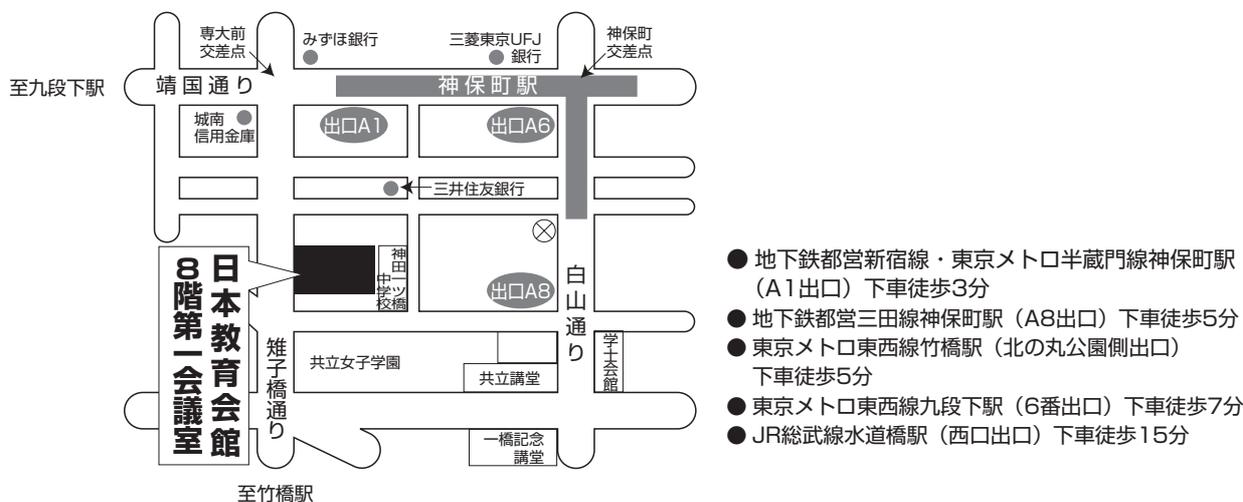
ご参加いただける場合は10月5日(火)までに下記必要事項にご記入後、FAXにて出席のご連絡をお願いいたします。
 なお、参加票など折り返しのご連絡はありませんので、当日はこのチラシをご持参の上、直接会場受付までお越しください。

FAX 03-3573-2062

ふりがな			
お名前			
電話番号	()	—	
ご所属施設名	病院 ●その他		()
	医院		
	所属		
○をつけて下さい。	医師・薬剤師・看護師・その他		
「がん医療研修機構」の会員・非会員をお示し下さい。	会員・非会員		
「日本緩和医療薬学会」の会員・非会員をお示し下さい。	会員・非会員		

【個人情報の取扱について】

ご記入頂きました個人情報は、本セミナーの参加者の確認のため共催および関係者のみで使用し、その他の第三者に提供することはありません。
 適切な安全管理措置にて保管し、使用目的達成後にはすみやかに廃棄いたします。



お問い合わせ先

「NPO法人がん医療研修機構」事務局 担当：水沼 等
 〒105-0004 東京都港区新橋2-20 新橋駅前ビル1号館
 TEL：03-3575-0181 FAX：03-3575-4748
 E-mail：h_mizunuma@kk-kyowa.co.jp